

令和5年度 講座実施報告書

1 概要

講座の名称	「災害時のトイレは命にかかわる」 <長野市共催>				
講座の目的	近年、地震や台風、大雨など自然災害が多発し、地域防災は身近なテーマとなる中、被災時のトイレ環境の整備は、災害関連死や性被害防止の観点からも重要な課題である。避難所の設営や避難所生活、また自宅避難時に、トイレ環境の整備についてはどのような点に気を付ける必要があるのかを、男女共同参画の視点も含めて学ぶ。				
募集対象	長野県内在住・在勤・在学の方				
定員人数	100名	申込人数	会場63名 後日配信38名	当日参加人数	会場63名 後日配信視聴回数109回
申込方法	ながの電子申請サービス、電話、FAX、メール				
託児	なし				
回数	1回				
開催場所	長野市勤労者女性会館 しなのき 多目的ホール				
日時	10月28日(土) 13:30~15:30				
講師	加藤 篤さん(NPO 法人 日本トイレ研究所 代表理事)				
開催内容	講義「災害時のトイレは命にかかわる～地域防災に女性の視点を～」				
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時のトイレの大切さを知ることができました。 ・ 災害時の避難所のトイレ設置について勉強になりました。 ・ とても参考になるお話をしてありがとうございました。まず、身近なところから我が家のトイレの備えをしたいと思います。 ・ 地域の代表者の方々に参加してもらえたらよい講演でした。さっそく携帯トイレ準備しようと思います。 ・ 災害時の報道されないトイレの実情、現状を知ることが出来て、問題意識をより深くもつことができたこと、大変ありがたかったです ・ 職場における防備品(トイレ関係)を見直すことが必要と思いました。企業が地域と連携して対応できるといいなと思いました。 ・ 実践者ならではの具体的に必要なもの、事が分かりやすく、楽しく伝えられて有意義でした。有事に備え、自身の行動に結び付けたいと感じました。 				



(加藤講師)



(携帯トイレの説明)



(会場の様子)